

ぶどうウイルス無毒樹の果実品質と枝しょうの特性

[要約] ぶどう（巨峰）のウイルス無毒樹の果実形質は大粒で、糖度が高く、酸含量が低く、果皮色が良い。樹体形質は新しょう数が多く、新しょう長が長く、生育旺盛である。

長崎県果樹試験場・落葉果樹科	専門	栽培	対象	ブドウ	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成5年度果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

現在、県内におけるぶどう栽培地帯の主要品種である巨峰は結実性が不安定で、着色及び果粒肥大が悪い等の問題点があり、この点の早期解決が望まれている。この主要因としてウイルスの感染が考えられる。そこで、県内で選抜された浜崎、大坂屋、川島の3優良系統を生長点培養によってウイルス無毒苗の作出を行い、その作出個体を果樹試験場、佐世保市及び時津町の各圃場に植栽し、その樹体形質及び果実形質の確認を行った。

[成果の内容・特徴]

- ①ウイルス無毒樹の果実形質は果樹試験場、佐世保市、時津町ともに対照樹より1粒重が重く、果心長が長く、糖度が高く、酸含量が低く、果皮色が良かった。
- ②ウイルス無毒樹の樹体形質は果樹試験場、佐世保市、時津町ともに対照樹より新しょう数が多く、総新しょう長が長く、樹体の生育は旺盛である。
- ③優良3系統の中で浜崎が最も優れているように思われるが、より明瞭にするため調査を継続する必要がある。

[成果の活用面・留意点]

- ①ウイルスの再感染を防ぐため、せん定鋏や採果鋏等はホルマリン3%と苛性ソーダ3%混合液で5分以上浸漬消毒するか、専用鋏を使用する。

[具体的データ]

表1 ぶどうウイルス無毒樹の果実形質

系 統	調査地点	粒数	1粒重 (g)	果心長 (mm)	果梗径 (mm)	糖度	酸含量 (g/100ml)	果皮色
浜 崎	(果 試)	25.0	11.3	9.3	5.0	18.0	0.53	10.0
	(佐世保市)	25.0	13.7	9.8	5.2	18.1	0.54	10.0
	(時津町)	25.9	13.9	11.1	5.0	18.0	0.71	8.3
大坂屋	(果 試)	24.3	11.0	8.9	5.2	17.6	0.58	9.8
	(佐世保市)	24.9	13.3	8.4	5.5	16.5	0.63	10.0
	(時津町)	23.9	13.7	9.8	5.2	17.3	0.70	8.5
川 島	(果 試)	24.7	12.0	7.2	5.5	17.5	0.58	9.0
	(佐世保市)	25.0	13.1	8.9	5.3	15.9	0.66	9.3
	(時津町)	26.3	13.5	10.6	4.9	16.6	0.71	7.7
平 均		25.0	12.8	9.3	5.2	17.3	0.62	9.2
対照樹	(果 試)	23.7	10.2	6.0	4.7	16.4	0.59	9.0
	(佐世保市)	25.0	12.3	7.6	4.3	15.9	0.69	8.9
	(時津町)	36.3	11.2	6.7	4.2	14.4	0.75	7.0
平 均		28.3	11.2	6.8	4.4	15.6	0.68	8.3

表2 ぶどうウイルス無毒樹の新しょう数、総新しょう長及びせん定量

系 統	調査地点	新しょう数	総新しょう長 (cm)	せん定量 (g)
浜 崎	(果 試)	149.0	7,700	4,275
	(佐世保市)	113.0	10,724	4,700
	(時津町)	58.5	5,200	1,025
大坂屋	(佐世保市)	108.0	9,711	4,500
	(時津町)	61.5	5,848	1,185
川 島	(佐世保市)	109.0	9,726	3,300
	(時津町)	53.0	6,336	1,210
平 均		93.1	7,892	2,885
対照樹	(果 試)	38.0	2,602	400
	(佐世保市)	48.0	3,024	1,900
	(時津町)	34.0	1,437	420
平 均		40.0	2,354	907

[その他]

研究課題名：ブドウウイルス無毒樹の早期形質確認

予算区分：県単

研究期間：平成5年（平成元年～6年）

研究担当者：森田 昭・林田誠剛

既発表論文等：平成3年、平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：継続試験を行いデータの蓄積が必要である。

ウイルスフリー樹の栽培法の確立試験が必要である